



No.53

2022年 新年号

□□□□□□□□□□□□

編集・発行 埼玉自治体問題研究所  
〒330-9301  
さいたま市浦和区高砂3-15-1（県職気付）  
TEL&FAX 048-822-9272  
info@saitama-jitiken.com

2022年 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。



▲県下5番目に市制を施行した行田市（人口79400人）は、歴史のまちである。さきたま古墳群、映画「のぼうの城」で有名になった忍城、そして開花の時期には全国から多くのカメラマンが集まる古代蓮の里…。12月20日に訪れたさきたま古墳公園は、暖かな日差しに恵まれていたが人影がまばらな分、悠久のロマンを感じることができた。公園内には10の古墳があるが、写真は、丸墓山古墳（左）のふもとから見た稲荷山古墳（前方後円墳で金錯銘鉄剣が出土）である。

催  
し  
も  
の  
案  
内

第52回市町村議会議員研修会（ZOOM開催）1月21日（金）～22日（土）

第1講義 感染症に備える医療・公衆衛生と地方自治 21日 13時～16時30分

- コロナ下で加速する地域医療をめぐる政策動向～地域づくりに向けて～  
講師 長友薫輝（三重短期大学教授）

- 保健所の統廃合がもたらした現実と今後の課題  
講師 亀岡照子（元大阪市保健師・看護系大学非常勤講師）

第2講義 コロナから見る日本の社会保障 22日 13時～15時

- 講師 伊藤周平（鹿児島大学教授）

秋号（53号）の内容

●新年あいさつ 地方自治法制定75年を迎えて	平野方紹（理事長）……………	P2
●特集 学校統廃合を考える埼玉交流集会報告	事務局……………	P3
●寄稿 俵万智『未来のサイズ』を読む	大坂健（國學院大名誉教授）…	P6
●議会活動情報コーナー		
○シリーズ「議会広報から見える議会改革」⑤ 芳野政明（議会広報アドバイザー）…	P10	
○発信する自治体議員 池田達生（上尾市議）…	P11	
●事務局通信		P12

# 住民の命と暮らしを守る

## 地方自治の実現に向けて

### —地方自治法制定75年を迎えて—

埼玉自治体問題研究所 理事長 平野 方紹

日本国憲法（1946年公布）が、わが国に始めて「地方自治」を導入し、その具現化のために地方自治法が制定されたのは1947年4月のことです。ですから今年は、わが国の地方自治75周年となります。確かに第2次大戦前でも都道府県や市町村はありました。しかし、戦前の都道府県は国の出先機関であ

り、市町村は住民と地域の管理が主な目的で、「地方自治」という理念はありません。そこに働く職員は「役人」であり、「官」として住民を見下ろしていました。こうした官が地域や住民を支配する歴史は、古代に「クニ」が生まれてから戦前・戦中まで1500年以上も続いてきました。これに対して、住民が主体となる「自治体」、全体の奉仕者である「公務員」、こう

すべき理想を達成して完成したものになつたとはいえません。それどころか、歴史のスパンからすれば、地方自治はまだ発展途上にあると言ふこともできます。

2019年秋、中国が発端の新型コロナウイルス感染は、2020年1月に日本国内でも感染が確認され、その後「燎原の火」となつて瞬く間に全国に広まつて猛威を振るい、人々の命や暮らし、社会に大きなダメージを与え、埼玉県内も深刻な事態となりました。

このコロナ禍の2年、感染対策の現場を実際に担い、中心的な役割を果たしてきたのは自治体でした。住民の暮らしと命を守る、そんな自治体の使命が見え現にあります。今日の地方自治は、その目指

この間の国や自治体による地方自治「変質」や、住民の願いに背を向ける姿勢をとった自治体もあって、この自治体の役割や機能を損なってきたことも露呈しました。コロナ禍3年目に入ろうとする今年、改めて地方自治が問われています。

昨年（2021年）、埼玉県深谷市出身の洪沢栄一を主人公としたNHK大河ドラマが話題となりました。実業家でもあり慈善事業家でもあつた洪沢は、その事業の理念をこう述べています。「できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるよう行動するのが、我々の義務である。」（洪沢栄一）

今年75歳となる地方自治法も「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」（第1条の2）としています。この2022年を、地方自治75年の軌跡を踏まえて、地方自治のあるべき姿の実現に向かう新たな出発点としましよう。



## 特集 I

# 乱暴な学校統廃合は教育も地域も衰退させる

## （）全国最悪の学校統廃合・小中一貫校計画に各地域で反撃（）

二月四日（土）埼玉教育会館で「学校統廃合を考える埼玉交流集会が開催されました。

埼玉県下の学校統廃合・小中一貫校計画は、和光大学教授の山本由美先生が「全国最悪」と評価しているように、教育的見地からの検討を欠いた面積と費用の削減・統廃合が共通した内容になっていることが明らかになりました。また、こうした計画に対する各地の住民の運動が交流され、ネットワークを強化する必要性も出されました。こ

こでは、「二〇名（会場五〇名、オンライン七〇名）が参加した交流集会の内容について、概略をお知らせします。

### ■基調報告 I

#### 埼玉県下の学校統廃合

渡辺繁博（埼玉自治体問題研究所）

県下の学校統廃合の特徴は、第一に、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の再編・削減政策の中心に学校統廃合・小中一貫校が位置付けられていることです。公共施設全体に占める学校施設の割合が五〇%以上と高く、公共施設削減計画達成に学校削減は不可欠と考えています。上田県政時代の二〇一三年に設置された「埼玉県市町村公共施設アセットマネジメント推進会議」が市町村の公共施設担当者の研修や事例検討会の場となり、統廃合やPFI導入を県

下に広げていく場となっていました。第四に、自治体の計画は、①人口減少と施設の更新費用を過大に見積もり、②自治体版地方創生戦略・人口ビジョンと矛盾する計画、③予防保全メンテナンスによる公共施設の長寿命化の努力なし、④適正規模と言いつながらこれを上回る大規模校を推進、⑤四〇年という長期の計画なのに社会の動向や時代の要請と逆行（少人数学級・小規模学校への流れ、災害避難所としての学校、健康長寿・地域コミュニティの強化等）などの共通する欠陥を持っています。

県のアセットマネジメント推進会議を主導した東洋大学PPI研究センター長根本祐二氏は、二〇一五年二月の推進会議で「公共施設等総合管理計画のための標準モデルについて」講演し、幼稚園、保育所、学童保育資質、高齢者福祉施設、公営住宅、小規模スポーツ施設、集会所等は民間移譲、学校施設は小学校、中学校とも二三五人以下は統廃合、近接小中学校は面積が大きな方に一貫校化して特別教室、管理諸室、体育館、ホール等を共用化、大型ホール、

域化、とするモデルを提示し、さらに、更新施設はP.F.I.、既存施設は指定管理を導入、施設等の維持管理は包括民間委託、学校跡地などは民間に売却・賃貸、公共施設の利用料は引き上げ、などの原則を確認すべきとしました。

こうした動きに対抗する視点として大事なことは、①公共施設の規模と配置は、住民の暮らしや権利、住みよい地域づくりに直結する重要課題。自治の力を發揮し地域特性に沿ったわがまちの顔をした政策でなくてはならないこと。②高齢社会対応、健康長寿の願いと医療・介護費用の軽減、少人数学級・小規模学校の国際的趨勢、気候変動に伴う巨大災害の多発や新型感染症の危機など、向こう四〇年の社会動向や、時代の要請に逆行した計画では、地域も国も、子どもたちも衰退すること、③学校は統廃合でなく、学級・学校の小規模化と多種地域施設との複合化などに柔軟に対応できる地域の拠点施設として維持改善していくことが重要ではないか、と問題提起されました。

埼玉県の学校統廃合・小中一貫校

山本由美（和光大学教授）

学校統廃合は、国の政策として全国的に進められてきましたが、二〇一五年以降新たな段階を迎えています。二〇一四年に「地方創生」政策がはじまり、新自由主義的地域再編が本格始動しました。その一環として全自治体に「公共施設等総合管理計画」の策定を総務省が要請。

れている東洋大学PPP研究センター的統廃合は子供のことをまともに考えていないことが特徴で、人口やコストに応じた機械的統廃合計画であり、上尾の事例が典型的ですが教育的根拠すら提示しない適正規模論などで小中一貫校計画がすすめられています。

二〇一五年の経済財政諮問会議では改革工程表を示し「学校の適正規模化」が教育課題の筆頭に取り上げられました。これに沿って文科省は統廃合の手引きを改正、単学級以下校の統廃合の適否を速やかに検討するところが求められました。この手引きは、小規模学校の教育的効果を認めってきたこれまでの文科省の考え方を変えるものなのか、検証が必要です。

埼玉県の統廃合の特徴は、(1) 公共施設に占める学校施設の割合が高いこと、(2) 適正規模では自治体の独自基準や「準適正規模」など根拠のない理由をつけたりたい放題、(3) 埼玉県下では緊急に統合の必要がある学校は少い、(4) 「数年後の複式学級出現」など、何でもありの理由付け、(5) 小中一貫教育の内容やコミュニケーション・スクールの意義などについての説明なし、などです。また、小中一貫校についても、① 小中一貫校は子どもたちの数が非常に少ない自治体で、カリキュラムなどを検討して慎

は小中一貫のカリキュラムなども検討されてない、②一貫校が統合を進める手段として使われている、③検証のない正しくない概念として文科省も使わなくなつてゐる「中一ギャップ」などを理由としている、④「九年間を見通したカリキュラム」、学びと育ちの連続性とは言うが具体性は全くない、などあまりにもお粗末な内容のまま推進されています。子どもを対象とした大規模調査の結果を見ると、子どもの「自信」「友達関係」や「運動」「自己価値」のコンピテンスが一貫校は低くなっています。つくば市の一貫校を調査した結果では、対教師関係性、学校行事への関与、リーダーシップや主体性、精神的健康度など非常に重要な指標で普通学校の方が一貫校より優位なことが明らかになつていています。

埼玉県は、三六人以上学級の割合が小学校全国一位、中学校が全国二位と非常に高くなつてゐるにもかかわらず国の教員分配を少人数学級に使っていない特異な県になっています。

特集 I

## 学校統廃合を考える埼玉交流集会報告

育政策が考えられていると思いま  
す。ここ二年ほど埼玉の各地  
で講師を頼まれて通っています  
が、運動の側での自治体間のネ  
ットワークが弱いことを感じま  
す。

す。この交流集会を契機に、ネットワークの力を強め、乱暴な統廃合・小中一貫校計画を押し返すために頑張れるようにしていきましょう。

各地の動向と市民運動報告

各地の動向と市民運動報告

嵐山町からの報告

○吉田務さん（上尾の学校廃合計画を考  
える市民連絡センター事務局長）～上尾の学校廃  
合計画は、総務省系の「ふるさと財團」のモ  
デル事業として太田建設コンサルタント「八千代  
エンジニアリング」に業務委託をしてつくられ、  
検討資料の作成、府内会議運営、基本コンセプト  
や基本計画案の作成、市民説明会の資料作成まで業者  
が行っています。また全国各地で統廃合計  
画の助言者となっている。葉養文教大教授が助言者とな  
っています。

会がもたれ、教育委員会總務課書政策課、行政経営部、施設課等)がリードして進められています。上尾は公共施設そのものが県内四〇市で二番目に少なく、教育施設が六三%を占め、学校施設の削減が公共施設削減計画の中心課題になっています。また、当初から給食、ブル、体育館、皇帝などでPPP・PFIの活用など公務サービスの産業化を促進することも狙われていました。

上尾の計画の特徴は、①教育的な視点が全くない、コストと面積を基準にした機械的な削減がもたれ、教育委員会總務課書政策課、行政経営部、施設課等)がリードして進められています。上尾は公共施設そのものが県内四〇市で二番目に少なく、教育施設が六三%を占め、学校施設の削減が公共施設削減計画の中心課題になっています。また、当初から給食、ブル、体育館、皇帝などでPPP・PFIの活用など公務サービスの産業化を促進することも狙われていました。



## ▲――：四交流集会の会場

計画案は凍結せロースで見直し、二〇一三年度までに見直し案を再提案するという市長答弁を引き出すことができています。

※越谷市、鴻巣市、嵐山町の報  
告　さいたま市、熊谷市など  
の発言については、住民と自  
治埼玉版でお知らせしてい  
きます。

計画になつてゐる、②小中三三校を二二校に減らす大規模な再編計画になつてゐる、③その根拠として適正規模を小学校一八学級五四〇人以上、中学校一五学級五二五人以上とする独自基準を設定、さらに小一二学級二四六人未満、中九学級二四六人未満を許容できない規模としている、④ブールの民間委託、

給食のセンター化と民間委託を検討、(5)唐突に教育的検討もないう「小中一貫校」が持ち込まれている、など山本先生が指摘するように最悪の内容となつてます。この計画に対し、統廃合の重点地域になつている五つの地域に考える会をつくり、PTA、自治会、学校関係者、住民、地元の市会議員全員に呼びかけ懇談会や学習会を進めていきます。特に、市議会全員協議会で

# 俵万智『未来のサイズ』を読む

大坂 健（國學院大學名誉教授）

から届く。父親はいるが、母子家庭だということがわかる。

この流れは第五集『オレはマリオ』（二〇一三年）から変化する。第五集では、原発事故を契機とした石垣島への移住後、島の人々や世相（社会）にまつわるテーマの歌が新たに登場するのである。対談の中で俵は社会的テーマを詠うようになつたことについて次のように語っている。「子育てをしていると新聞記事で無関係なことはないなあと漠然と感じていたんですが、子供が成長すると、より具体的に考えることが多くなったので、それが歌に反映していると思います」（俵万智『未来のサイズ』刊行記念特別企画インタビュー）『短歌』第六七巻第一〇号、一二〇頁）。

俵万智の六作目の歌集『未来のサイズ』（角川書店、二〇一二〇年）を手にした。俵を知ったのは『サラダ記念日』を読んでからのことである。「この味がいいね」と君が言ったから七月六日は『サラダ記念日』はご存知

の方も多いであろう。ここでは、『未来のサイズ』の特徴や歌の紹介、歌人俵の短歌史的意義について述べたい。

『サラダ記念日』から『オレはマリオ』まで

今回の歌集の特徴としてはまずあげることができるのは、詠むテーマの広がりである（表参照）。

第四集までの歌集は、恋や子育てなどの生活における基本的な関心事を軸に編まれている。旅の情景や両親のことなども詠われてはいるが、そこには本流が脈々と流れていることがわかる。『サラダ記念日』（一九八七年）は基本的に恋の歌集である。初恋だったのかどうかは知るよ

りもないので、歌集からはみずみずしくもあり、さみしくもある恋心が漂ってくる。この歌集は「愛された記憶はどこか透明でいつでも一人いっただて一人」で終わる。第二集『かぜのてのひら』（一九九一年）も恋の歌が主流である。第三集『チヨコ不倫の歌ではないかと噂になつた作品だ。『抜け殻』としてあるパジャマ抱き寄せてはかなき愛のかたちを崩す』。第一集、第二集と同様、「煩惱は一つと思ふ除夜の鐘ゆく恋こころに沈め」と寂しさが漂う。第四

集『ブーさんの鼻』（二〇〇五年）は、妊娠、出産の頃の歌集で、子育ての歌が中心に編まれている。「どこまでも歩けそうなる革の靴いるけどいないパパ

から届く。人生を貫く運命の赤い糸なのである。「ゆで加減繊細すぎるバスターなり君の心の芯を残して」。『未来のサイズ』はこの延長線上にある歌集とみてよいだ

「サラダ記念日」「未来のサイズ」の  
テーマ別分類

	サラダ記念日	未来のサイズ
恋	189	41
家族	36	11
子育て	0	61
旅	30	11
地域	0	77
世相（社会）	0	78
自然	2	5
その他	177	132
合計	434	418

ろう。

## お気に入りの 『未来のサイズ』の歌

「未来的のサイズ」で詠まれた  
主な分野、①恋、②子育て、③  
地域、④世相（社会）について、  
私のお気に入りの歌をみていこ  
う。

### ①恋

インスターの桜が騒ぐ幾つも  
の「いいね」の中に君を見つ  
けて 目をつぶり空と口づけする  
よう にジャパンキャビアを  
君は味わう ひとことで私を夏に変える  
ひと白のブラウスほめられ  
ている 羽田エクセル東急の窓  
離着陸終えた君との物語

### ②子育て

「短所」見て長所と思う「長  
所」見て長所と思う母という  
もの 10センチ背丈伸びたる息子  
いてTシャツみんな新品の  
夏 反抗は甘えだという記事を  
読み今朝丁寧にむく次郎柿

### ④世相

彼女の恋の歌は、折々の「君」  
との出会いの喜びが伝わつてく  
る。ジャパンキャビアとは、宮  
崎産の養殖キャビアのことであ  
る。この歌は子供の進学のため、  
石垣島から宮崎に移住した後の

歌と思われる。また、恋人「多  
分昔の恋人だろうと推測」の計  
報に接して、いくつか詠つてい  
る。

際のものである。

「選ばれる地方」「選ばれない  
地方」選ばれなくとも困らぬ  
地方 進学のためと話せば島人は  
素早く頷く「しかたないさ  
ー」

「選ばれる地方」「選ばれない  
地方」選ばれなくとも困らぬ  
地方 進学のためと話せば島人は  
素早く頷く「しかたないさ  
ー」

シルエット海辺に浮かび原  
発は出航しない豪華客船

この夏の宿題として黑白の  
バルーンあがる国会の前  
自己責任 非正規雇用 生  
産性 実さんだつたら何て  
言つかな

「ただちには」ないってこと  
か戦争も微兵制も原発事故  
も ジュン子来て進次郎来て一  
太来て「魅力ある島」と訴え  
ている 地図に見る沖縄県は右隅に  
落ち葉のように囲われてお  
り

コロナ禍、原発、安保関連法、  
新自由主義政策、石垣市長選挙  
など、社会的的政治的問題も詠わ  
れている。このようなテーマを  
扱うといつても、あからさまに  
その立場を表現せずに、穏やか  
に皮肉をこめたり、比喩的に語  
つたり、別人に言わそそうとした  
りして、読み手の重荷を消す詠  
み方がされている。とくに、「沖  
縄＝差別」というような調子の  
語りをせずに、日本地図の端に

さようならの後の暗黒 地  
下へ地下へ地下へあなたは  
潜っていった 風邪ひけば葛根湯を飲む我  
のこの習慣は亡き人ゆずり

「選ばれる地方」「選ばれない  
地方」選ばれなくとも困らぬ  
地方 進学のためと話せば島人は  
素早く頷く「しかたないさ  
ー」

「選ばれる地方」「選ばれない  
地方」選ばれなくとも困らぬ  
地方 進学のためと話せば島人は  
素早く頷く「しかたないさ  
ー」

区切られている「沖縄」を落ち葉にみたてて表現していることに感心した。

歌集の最後に氣になる歌があつた。死に至る病でなければいいのだが。

プレミアムモルツ飲みたく

の病院

23

れかりやすい老僧と思へ」とした「ゆっくり進む病」というなら  
院封をした検査結果をふとこ  
ろに運び屋のごとく戻る病

そして、歌集は人生の中間総

そして、歌集は人生の中間総括めいた歌で閉められている。「別れ来し男たちとの人生の」も

し」どれもよし我が「ラ・ラ・ランド」と。「ラ・ラ・ランド」

という映画は、ご存知のように、

たいと夢見る男と女優になりた  
ハル夢見る女が恋をして別れる

が、五年後、女優となつた彼女は夫と偶然彼の店に立ち寄り、

夢を実現させている彼と見つめ合つて去るという、結ばれなかつたけれど夢を実らせて生きろとしても、確かに人生を送っていると想えるという、なんともうやましい総括の一首ではないだらうか。

儀方智と  
第二藝術論

桑原武夫は、終戦直後（一九四六年）に、雑誌「世界」で「第二芸術」を発表し、現代俳句について解釈・説明がなされていることは、「作品を通して作者の経験が鑑賞者のうちに再生産される」という（桑原武夫「第二芸術」講談社、一九七六年、一九〇頁）芸術の性格からいって芸術作品としての未完結性、脆弱性を示すものである、（②）近代化している「いまの現実的人生は俳句には入りえない」（同上二八〇頁）と辛つに批判し、もし芸術といいたければ「第二藝術」として区別し、学校教育からは締め出すべきだと主張した。この議論は現代俳句を対象とした。この議論は現代俳句の運命において、（②）と同様の趣旨の議論、すなわち、「複雑な近代精神は三十二文字には入りきらぬものであるから、その矛盾があらわになり、「略」短歌は民衆から捨てられる」（同

した。このような短歌批判を契機として、歌壇では、塚本邦雄、岡井隆、寺山修司などによつて前衛短歌運動が展開され、表現の革新が進められるようにならる。

私は桑原の主張には妥当な側面もあつたと考へてゐる。現代歌人といわれる人の作品の中には、いつの時代の人間が詠んだかと思わせるような難解なものが幾つもみられるからである。短歌の難解さの要因は、いふまでもなく短歌が文語や歴史的仮名遣いを用いて詠むという慣習にある。そして、それは、「詩歌は孤独なもので、他者には決して伝わらないといふ」（加藤治郎『短歌のドア』角川学芸出版、二〇一三年、四五頁）近代の詩精神と結びつき、難解な独説的作品を生み出すこととなつた。同時代の読み手に解説を媒介しないで理解されるような表現方法（口語化）がとられない限り、短歌の創作は「教養ある」歌人集団だけの自己満足に陥ってしまうであろう。この点に関しては、

しては、桑原は歌壇に重要な問題を提起したといえよう。

口語化という課題は最終的に

戦後短歌史 角川書店、二〇〇九年、二三二頁、大きく前進する。

俵によって達成される。もちろん、口語化は、それ以前にも幾人の歌人が行つてきたが、「サラダ記念日」の爆発的売れ行きと短歌の大衆化によって「中高年の人たちは短歌というものは文語を使わなくていいのだとうことを覚え」（岡井隆「私の



俵の歌の意義はそれだけではない。彼女が他者との関係をうまく詠いこみ、それまでの短歌を飛躍させた点にも注目しなければならない。俵の革新性は、「日々の心の揺れ」「未来のサインズ」と他者との関係性を詠うのにふさわしい、会話体を含む口語やリズム、修辞などの表現方法をとりいたることにある。彼女の歌が「一行でつられた物語」（吉本隆明「詩歌の呼び声」論創社、二〇一二年、二四五頁）といわれるようになるのはそのためであろう。

彼女の詠う基本姿勢について、俵の師である佐佐木幸綱は「対話」だと的確に対談で語っている。「現代短歌では『私の心に忠実だ』というのが歌の第一条だといわれているわけ。他人のことを考える。これはもう妥協だし、へつらいだと考えられていたが、そうではない、歌はダイヤローグだ、対話の心だ。〔略〕『私のことを言いたいから

言う』という自己実現の方法で

た人といつてよいだろう。

言葉を、何かだれかに言いたい、響きたい、という気持ちが基本にあつたんじゃないかな。」（師弟特別対談「俵万智の世界」「短歌」第三四卷九号、七九頁）と。

俵は、他者性を短歌にもちこむこと、自己の思想性・内面性を詠わなければならないという固定観念の呪縛を解き、短歌発展の可能性を広げた歌人なのである。

## 俵の 「未来のサイズ」の行方

一連の歌集からは、俵が自立した個人としていきいきと人生を送っているように感じられる。私は、超未來の協同社会では家族単位ではなく個人単位の生活様式が生まれ、それを前提に社会が構成され、多様な生き方ができるようになると展望している。この点からみると、彼女は、恋愛をし、その相手との子供をもうけ、一人で子育てるとともに、歌人として生きる

大人にとってよいだろう。

俵は、雑誌のインタビューで大人にとつての「未来のサイズ」は何でしようか、と問われ次のように答えている。「大人の

背はもう伸びることはあります

が、心はずつと成長していくものだと思います。〔略〕同時に自分に一番しつくりくる、等

身大のサイズを探して進み続けることも大切かもしれませんね。／そして、我々が暮らす国や社会にも、子どもたちの成長を促すよう努めたりがつてほしい。次の世代が豊かに生きていくる社会をつくるのは、私たち大人の責任もある。」（心の身長は伸び続ける）「Voce」第五十九号、二〇二一年三月）と。彼女の「未来のサイズ」はどのようなものになつているのであるか、彼女の歌が心の成長にともなつてどのようにに変化していくのであるうかが、楽しみである。そして、どのよ

うな人生最後の総括の歌を詠うのか、恐らくかなわないだろうが、できれば知りたいと思う。

（埼玉自治体問題研究所顧問）

## シリーズ 議会広報から見える各地の議会改革 ⑤

# 「『身近な議会』への広聴広報」

岩手・岩泉町議会

芳野政明（研究所理事・議会広報アドバイザー）



本号でも、議会広報で「東北の雄」の1つ、岩手県岩泉町議会の広聴広報を紹介します。全国町村議会広報コンクールで、「議会だより いわいすみ」は、2019年の全国第9位から、2020年は第2位に躍進した「議会だより」です。

### ■意見交換会を7年で24回

岩泉町議会の議会基本条例の制定は2015年でした。基本条例の第2章「議会の活動原則」、第4条（議会の責務）で、（1）透明性、公平性及び信頼性が高まるよう、開かれた議会を目指す。（2）町民の多様な意見を的確に把握し、町政に反映させるため、意見集約に努める、（3）（略）、（4）町民に身近な議会運営に努め、町民とともに歩む議会を目指し、常に議会改革に取り組む、を定めていきます。さらに、第11条には「議会は、町民の意見を把握し、反映しそえる合議体としての特色を

最大限に生かし、町民参加推進のために、町民との意見交換会を少なくとも年1回開催しなければならない」との規定があります。

広報紙「議会だより いわいすみ」の第19号（2020年4月10日発行）では、「〈特集〉身近な議会であるために」を全5頁で組みました。これによると、町議会として地域に出向き、直接町民から話を聞くことを目的

に、「議員と語る会」を2014年に「第1回」を開催しました。以来、2020年2月までの7年間で24回行っています。

町内7地区での開催のほか、農業や林業従事者、中高生、子育て世代など個人、団体・グループで、延べ1201人の声を聞き、町の施策反映に務めてきました。

### ■住民の声で実現した施策

「特集」では、住民の声を行政に提言、実現した事例も紹介されています。例えば、「高性能林業機械の導入に補助を」（H26年6月・林業者）の要望に、「28年度から高性能林業機械」の購入に2分の1の補助を、さらに元年度からリース料



## 議会活動情報コーナー

の3分の1を補助」を実現。「W-i-Fi環境が整った施設の拡充を」（平成29年6月・高校生）では、「役場（各支所）、町民会館、図書館、龍泉洞や道の駅に随時整備。2年度にも…（以下略）」、「小川に放課後児童クラブの設置を」（平成30年6月・小川地区）の声に対して、「平成30年12月定例会で児童クラブの開設に向けて補正予算を可決。31年4月に開設」が実現。「施設整備や機械の導入に町のかさ上げ補助を」（R元年6月・酪農家との懇談）には、「2年度から国庫補助を受けて、施設などを整備する際、町単独のかさ上げ補助を実施」など（以下略）が報告されています。

「声」は行政だけでなく議会への提言もあります。例えば「特別委員会の会議録も図書館で閲覧できるように」（H29年6月・全国地区）や、「議会の会議録を町ホームページに掲載すべき」（H30年6月・小本地区）の要望が出され、以降閲覧や会議録のホームページに掲載されるようになりました。

### ■多彩に「まちの声」 常時掲載

同「議会だより」は、議案審議や委員会審査などの議事公開でも、優れた編集力が示されています。議事をわかりやすく審議経過や内容が的確です。さらにこれらの議事や特集企画、報告記事に、そのテーマに該当する「まちの声」（コメント）のカコミ記事がよく出されています。「名前（&地区名・年齢）」、顔写真、コメント（60字前後の字数）です。議員の審議内容に、「まちの声」の裏付けや後押しがあり、議会との一体感が生まれます。基本条例で定めた「議会の責務」の実践、町民とともに歩む議会、議会改革に広聴広報活動を機能させ、進化を続けています。

## 給食費無料化へ一步前進

池田達生（上尾市議）



9月定例上尾

第3子への負担軽減」をかけ

市議会において「小中学校給食費無料化

ましたが、これは、署名に示された市民の大きな声と請願の可決の反映と思います。

日本共産党市議団は、長年に

願」が賛成多数で可決されました。

昨年11月に多くの市民によりつくられた「学校給食費無料化をめざす上尾みんなの会」は、

完全無償化への第1歩として第3子の負担軽減の早期実現へ力を尽くしていきます。

駅頭、スーパー前、公園などで

の宣伝署名活動、SNSでの発信、オンライン署名などで92

筆もの署名をあつめ、市長

に提出しました。また、全市議

会議員への呼びかけや、学習会

など多彩な運動を展開してきました。



11月の市長選で当選した畠山氏は、選舉公約に「学校給食の

## ◇事務局長独り言◇

「住民と自治」埼玉版の先月号について、健康長寿に関する調査研究の記事が興味深かった、との電話をいただきました。電話をいただいたことに気をよくして健康長寿・健康の社会的決定要因について再度「独り言」として書くことにしました。

日本は平均寿命、健康寿命とも世界一（平均寿命 84.3 歳、健康寿命 74.1 歳）ですが、2つの寿命の差として男性で 8.9 年、女性で 11.4 年、健康上の問題で日常生活が制限され、自立した生活に何らかの困難を抱える期間があります。「ピンピンコロリ」という自立した生活のまま年を取り、ぼっくり行くというのが多くのお年寄りの願いになっていますが、これは医療や介護の社会的負担を軽減する事にもつながる高齢社会の政策課題となっています。

健康寿命の延伸については、日本老年学的評価研究機構（東大はじめとした5つの大学と国立長寿医療研究センターが共同して立ち上げた研究機関）が大規模な（40万人を超える）高齢者調査を行い、健康の社会的決定要因について画期的な研究成果を発表しています。研究機構の代表で千葉大公衆衛生学教授の近藤克則氏、東大高齢社会総合研究機構長の飯島勝矢氏は、調査結果で非常に興味深かったこととして、「自立高齢者が收回以上取り組む活動についての調査結果」を上げています。身体活動（ウォーキング、水泳など）、文化活動（囲碁、将棋、手芸、生け花、書道など）、地域活動（ボランティア、町内会活動など）の有無とフレイル（加齢による心身の衰え）との関連性を検討した結果、3つの活動にすべて取り組んでいる人となにも参加しない人では、16倍のフレイルリスクの差があることがわかりました。さらに、特筆すべきこととして、『身体活動×、文化活動○、地域活動○』のパターンと『身体活動○、文

化活動×、地域活動×』のパターンでは後者のフレイルリスクが前者のパターンより3倍大きい結果になったことです。身体活動以上に文化活動や地域活動に取り組んでいる人のほうが身体機能や認知機能に効果があることが明らかになったのです。

以前からハーバード大学のイチロー・カワチ教授や WHO（世界保健機関）が提唱する健康政策が「健康の社会的決定要因」に着目した社会政策を重点にしていましたが、この研究機構の行った調査の結果はこれを証明するものになっています。

自治体職員や議会が、こうした健康に関する調査研究の到達点を学び、多くに人々が仲間と一緒に気軽にスポーツや文化活動、地域活動に参加し楽しめる地域環境を整備することが、高齢者の願いと医療・介護費用の軽減という社会的課題の解決につながることを理解する必要があります。公共施設政策や地域交通政策は、健康の社会的決定要因を視野に入れた深く、広い重要政策であることを確認しましょう。

### 研究所新刊案内

#### ●こどものための児童相談所～児童虐待と子どもへの政治の無関心を超えて～

浅井春夫・山野良一・川松亮、鈴木勲 共著  
1700円+税

児童相談所のリアルは伝わっているか？  
2020年20万5029件の「子供虐待相談」が児童相談所に持ち込まれている。児童相談所は225か所、児童福祉士は4553人。この現状をどう打開するか、を探求する。